

精神科医の思うこと②1

「会食」

松村 奈奈子

まだまだコロナコロナな日々。

食べ歩きが大好きだったのですが、食事の形は大きく変わりました。お店で食べるよりちょっぴりお高いので敬遠していたウーバー・イーツを利用してみたり、いつものお店が新たに始めたテイクアウトを試してみたりと、思わぬ体験をしています。

で、「会食」というと、夫と二人暮らしの私は、夫以外とは会食できなくなっちゃいました。職場の人や、友達家族との定期的な会食は楽しみだったのですが、今は我慢です。

そこで今回は、我慢が続いている「会食」について、仕事に関連した忘れられない思い出をふたつ

そのひとつは、若い頃、異動で他の病院に行くことが決まり、夕方ひとりで残務整理をしていた時の事です。ふらっと院長があらわれて「この後、何人かでご飯でもいくか？」と恥ずかしそうに「会食」に誘われました。当時、私の父親の年齢に近い院長とは、仕事以外の会話をほとんどしたことがなかったのですが、私もなんだか最後にお話をしたい気持ちになって、ご一緒しました。居酒屋では院長先生の横に座り、初めてゆっくり会話をしました。話しているうちに、実は面倒な経営会議には出席しなくていいように配慮してくれていたたり、難しいケースはさりげなく気にかけてくれたなど、私が働きやすいようにサポートしてくださっていた事がわかりました。血気盛んな若い私は、ただ仕事をガンガンこなす事に満足してただけで、恥ずかしい事に、守ってもらっていたのをわかっていませんでした。そして最後に「ちゃんと頑張っているのは知っていたよ」と娘のように頭を撫でてもらった時には、思わず涙がこぼれていました。仕事がハードだったので、ちょっぴりネガティブな思いもあった病院でしたが、すべてを忘れて「いい上司に恵まれてよかった」「ああ、この病院で働けてよかった」と思えた瞬間

でした。あの「会食」がなければ、恥ずかしがり屋の院長に父親のように守ってもらっていた事を、私は十分に知らずにお別れしていました。

「会食」のおかげで、私は大きな事を学んだと思います。

もうひとつ。それは20年ほど前に精神病院に勤務していた頃のお話です。

病棟の看護師さんの企画で、年に1度、入院患者さんと日帰りで外出するリクリエーションがありました。担当看護師さんは若い方で、ちょっとしゃれた博物館に出かけるプランになっていました。「今回は先生の患者さんのグループリクリエーションなんで、先生も一緒にどうですか？」と誘ってもらって「はいはい、おもしろそうですね」と一緒にバスに乗って出かけることに。長期に入院している統合失調症の患者さんが多い病棟でした。晴天の青い空の下、貸し切りバスに乗り込んで出発です。躁病の患者さんが、バスの運転手さんと楽しそうに会話する以外は、みんな静かに座っています。そうそう、統合失調症の患者さんは、お話が得意ではない方が多いです。私も無理に話しかけることはせず、車窓の風景を楽しませてもらいました。博物館でも、みんな展示物をなんとなく眺めて、ささっと出口に向かいます。その日のランチも看護師さんのプランで、ちょっとしゃれた博物館に併設した、ちょっとしゃれたカフェでとる事になりました。カフェの「本日のランチ」はハンバーグでした。

実は患者さんと食事をとる事は、それが初めてでした。病棟の食堂ホールで食事をとっている姿を見たことがあるだけでした。病棟では、患者さんがほとんど会話することなく、静かに食事をとっている姿を見ていたので、私も黙々とハンバーグを食べ始めました。

すると隣の患者さんから「先生、ハンバーグ切って」と頼まれました。おしゃれカフェにはフォークとナイフだけが用意されていました。「はいはい」と隣の患者さんのハンバーグを切ると「俺も切って」「僕も切って」と周りの患者さんから次々リクエストが。見渡すとみんなフォークとナイフを前に、固まっていました。そして看護師さんもまた、みんなのハンバーグを切り始めていました。「あっ、そうか、病院の食事では、お箸しか使わないもんね」「病院食では、フォークとナイフは見たことないな」と気づいたと同時に「フォークとナイフの無い病院食を、長い時間食べてきたのか」「長い入院とはこうゆうことなのか」と複雑な思いがわいてきたのが忘れられません。

「このハンバーグおいしいね」と少し患者さんとお話をして、患者さんとの初めての「会食」は終わりました。看護師さんが頑張って企画したリクリエーションでしたが、おしゃれな博物館とカフェを患者さんは楽しめたかしら？とちょっぴり疑問も残りましたが、私には忘れられない「会食」でした。

「会食」の思い出はいくつもあり、「会食」を通して学んできた事の多さに改めて気づきます。カンファレンスや定例会議では得られない、何かがあるんですね。研修医

の頃は、誰かが失敗して怒られると同期の仲間ですら食事に行くのが決まり事でした。逆に、ちょっとベテランになってからは、息切れしている後輩を食事に誘って話を聞いてみる事もよくありました。私はお酒を飲まないで「お酒」ではないんですよね。「一緒に楽しくご飯を食べる時間」というのが、心に大切なのかもしれません。

次の「会食」ができる日を、今はただ待っています。